

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <https://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館4階「ローズ」 Tel: (072) 222-0131 番 (代表)

ガバナー(第2640地区) : 豊岡 敬

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/toyooka/>

E-mail : toyooka@rid2640g.com

会長: 中川 澄 幹事: 綿谷伸一 広報委員長: 池田茂雄 編集者: 中田 学



四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2021年10月29日(金)第1931回

「豊岡 敬ガバナー公式訪問」

卓話者 RI 第2640地区ガバナー 豊岡 敬 様

今週の歌 「奉仕の光」「旅愁」

お客様の紹介・出席報告・

会長の時間・委員会報告・

幹事報告・SAA報告

前回の例会

2021年10月22日(金)第1930回

卓話 「パラリンピック以後を考える」

卓話者 花園大学 社会福祉学部

教授 安田 三江子 様

紹介者 那須 宗弘 会員

今週の歌 「奉仕の光」

「ちいさい秋みつけた」

お客様の紹介・出席報告・会長の時間・

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<10月22日(金)の出席報告>

会員数	30名
出席会員	24名
欠席会員	6名
ゲスト	1名
ビジター	0名

今週の歌

「旅愁」

ふけゆく秋の夜 旅の空の
わびしき思いに ひとり悩む
恋しやふるさと なつかし父母
夢路にたどるは さとの家路
ふけゆく秋の夜 旅の空の
わびしき思いに ひとり悩む

次回の例会

2021年11月5日(金)第1932回

卓話 「ロータリー財団フォーラム」

卓話者 ロータリー財団委員長 永富 久紀



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度 国際ロータリーのテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

国際ロータリー会長 シェカール・メータ (インド・カルカッタ-マハナガルRC)

卓 話

「パラリンピック以後を考える」

花園大学 社会福祉学部

教授 安田 三江子 様

紹介者 那須 宗弘 会員



1. パラリンピックの豊かな世界

東京 2020 パラリンピック競技大会には難民選手団を含む162の国・地域が参加し、8月24日の開会式から13日間にわたり熱戦を繰り広げ、9月5日に終了をしました。さまざまな障害のある選手が自らの障害と向き合い可能性に挑みました。日本選手団は全22競技のうち12競技で金13、銀15、銅23の計51個のメダルを獲得しました。メダルの数も大事ですが、激しい車椅子ラグビーから重度な障害のある方も参加できるボッチャまでパラスポーツの幅広さと世界の豊かさに、多くの方が魅了されたのではないのでしょうか？

また、選手一人ひとりの活躍も心に残ります。私は個人的にですが、柔道の廣瀬順子さん（花園大学卒業生）と競泳の成田真由美さんが特に心に残ります。廣瀬さんは今回、メダル（リオデジャネイロパラリンピックでは銅メダル）には届きませんでしたでしたが、5位と健闘しました。まだまだ若いので今後がんばっていくと思います。

また、25年の競技生活を終えて成田さんは今回で引退されました。成田さんのお優しい人柄と誠実でハードなごんばりについて、肢体不自由の卒業生（パラ二歩手前くらいの選手だったそうです）から聞いていました。成田さんは「水の女王」といわれパラリンピックで合計15個もの金メダルを獲得されていましたが、今回は6位でした。しかし、レースの後はプールに向かって一礼され、「今の試合が最後のレースです。6位という余韻にしばらく浸りたい」と言われました。心に残るシーンでした。

2. 格差を解消していくことの重要性

パラリンピック後を考えるにあたって、いくつ

かの問題について深く留意をすべきであると思われます。まず、選手の力の発揮には、社会的、経済的、人的な環境整備が必要であり、これらがあらゆるひとに普遍的に用意される必要があることは、障害のあるなしにかかわらず大事なことです。

特に、障害者スポーツには施設や器具など費用もかかり専門的な指導者も必要です。国情が安定していること、経済的な支援があること、育成体制が整備されていることが重要です。この条件はオリンピックにも大きく影響をしますが、パラリンピックにより顕著に影響をします。

パラリンピックへの参加国は162国でオリンピック205の参加国と比較するとかなり少ない状況にあります。なかでも、発展途上国の参加はかなり少なくなっています。発展途上国では医療が整備されておらず、さらに、戦争や内戦などによる負傷者も多いことから、世界の障害者の8割は発展途上国にいてもいわれますが、パラリンピックはもとよりスポーツをする環境さえない人びとがたくさんいることを強く認識する必要があります。

もちろん、我が国においても家庭の経済的事情や地域における社会資本の整備状況により、障害者のスポーツへのアクセス状況は異なります。格差は我が国においてもあり、解消していくための努力は必要です。

3. よりよい対等へ — 「呼び捨て」も重要 —

障害のあるひとに対して、あからさまな差別というのはかなり少なくなっているように思います。

でも、いまだに善意のうちにも潜むバリアがあります。報道においてスポーツ選手は敬称をつけなくてよいことになっています。しかし、障害の有無により、この報道にも違いはみられます。

金メダルの数が多い選手といえば、19個のメダルを取得した機械体操の内村航平さんがあげられます。ここでは成田さんと内村さんを比較してみます。

朝日新聞のオンラインのデータベース聞蔵でこれら二つの選手を検索してみます（朝日新聞データベース聞蔵 1984年1月1日～2021年10月

10日、2021年10月10日検索)。内村航平という単語は1032、成田真由美は306です。競技の注目の度合いも異なり簡単には比較できませんが、やはり、成田さんの記事は少なく、障害者のスポーツへの関心は高いとはいえない状況にあるように感じます。

さて、内村航平という単語は1032ほどヒットをしますが、敬称の「さん」は17(1.6%)、「選手」は247(23.9%)で残り768(74.4%)についての敬称はありません。一方、成田真由美という単語は306であり、敬称の「さん」は124(40.5%)、「選手」は35(11.4%)です。それ以外の147(48.0%)は敬称なしです。内村さんは4分の3は敬称なしですが、成田さんの敬称なしは半分に達しません。

なぜこの差は生じてくるのでしょうか。成田さんと呼び付けにとしては失礼な気がするという善意の気持ちもあると考えます。しかしその背景には、成田さんに関してスポーツ選手より障害者という認識が先行してしまっているのかもしれない。よりよい対等のために、呼び捨ても重要であるとも思います。

4. 障害者をまずひととしてみていくこと。そこから、障害のもとらす生きにくさもみえてくる

さて、私には、全盲の卒業生がいます。彼は民間企業でデータ処理の仕事をしています。運動が大好きなひとで、休みの日には山登りやマラソンを楽しんでいます。ただ、「マラソンをしています」と話すと、相手から「パラリンピックを目指しているんですか?」とよく言われるんだそうです。

一般に「マラソンをしています」といわれて、「オリンピックに出るんですか?」と聞くことはまずありません。でも、「パラリンピックを目指しているんですか?」というこの言葉、つい「がんばっているんですね」という意味合いもこめて言ってしまうそうです。とはいえこの言葉には「障害者スポーツ=パラリンピック」という偏見も潜んでいるともいえます。

これからは、「マラソンをしています」と言われたら「どのあたりをよく走られるのですか?」というような「普通」の会話になっていくことも大事だと考えます。

障害者をまずひととしてみていくこと、そうす

ると、そのひとの不自由さ、障害のある部分の大変さもみえてくるのだとおもいます。ここも、パラリンピック後の大きな課題と考えます。

成田さんの次の発言も、以上のことを指摘しているように考えます。

「私たちがスポーツをしている姿を見てもらった時に、車いすの人ってどうやって生活しているんだろうか、車いす用の駐車場とか車いす用のトイレってどうなっているのかなとか。そういう所まで含めて考えるきっかけになれば、もっともっとみんなが暮らしやすい社会になってくれると思う。せっかく東京でパラリンピックが開かれるんだったら、社会を変えなくちゃいけない、変えられるチャンスだと思っている」

「最後のパラリンピックで“水の女王”が願う未来 競泳 成田真由美」

2021/8/31https://www3.nhk.or.jp/news/special/2020news/special/article_20210831_01.html
2021年10月9日閲覧

パラリンピックの感動は、「たいへんなのにすごい」という障害に起因していることから生じています。しかし、選手がひとだからこそ感動をしたのです。障害者をまずひととしてみていくこと、これはあらゆるひとがひととして尊重されるからできることです。パラリンピックはだれもが生きやすい未来を切り開く可能性の大きな手段になったと考えます。パラリンピック後のよりよい世界が楽しみです。

「障がい者がかわいそうだと思うことが許せなくなった」

夏の甲子園 全国高校野球選手権大会決勝戦は、大阪桐蔭が、見事優勝を果たしました。この試合の鍵となるタイムリーヒットを放ち、同校を優勝へと導いたのが、主将の中村誠選手。

彼が中学3年生の時に書いた作文の内容が話題になっています。

「友から学んだこと」

中村 誠 (福岡県糸島市立志摩中学校3年)
僕には、絶対叶えなければならぬ夢があります。僕には体に障がいを持った友達があります。体の右半分はマヒしていて、右手はブラブラしてい

ますが、右足は少し動くので介助すると歩くことができます。

えん下障がいもあるので食べ物細かくきざんだ物にとろみをつけて介助でゆっくり食べれます。水分は多く飲めないでお腹に開けた胃ろうからチューブを通して注入します。

それから失語症もあり全く声が出ません。文字盤も使えないので自分の意志を伝えることはできないのです。とても不便な生活を送っています。その友達と知り合ったのは僕が小学五年生の頃、四年前です。僕が野球の試合に出るようになり、対戦相手だった子と友達になった。

その子は同級生と思えないくらいに野球が上手だった。ポジションも一緒だった。試合にも負けた。僕はとても悔しかった。

「絶対に負けたくない」この気持ちを胸に僕は一生懸命練習した。小学生の最後の大会の決勝戦でそのライバルのいるチームと戦った。延長戦で僕のチームが優勝することが出来た。

でも僕は勝ったとは思えなかった。だから中学生になっても別のチームで戦っていくことを約束した。しかしその友達というチームとの試合があっても友達はいなかった。

友達は障がい者になっていました。障がい者になって三年になります。三年前のある日を境に突然障がい者になってしまったのです。原因は病気です。本当に急な出来事でした。当時僕は大きなショックで友達を受け入れることができませんでした。

そんな友達を見て、初め「かわいそう」だと思っていました。でも一生懸命にリハビリに取り組んでいる友達の姿を見ていると、僕は「かわいそう」と思うのは良くない事だと思ふようになりました。なぜかという、人に対して「かわいそう」と思ふことは、その人を見下しているように思ふたからです。

友達は障がいを持ちながら一生懸命に生きているのに、上からの視線はごうまんで大変失礼なことだと思いました。このことは友達に対することだけではなく、全ての障がい者に対して共通する気持ちです。障がい者になりたくてなった人は誰もいません。そして誰もが障がい者にならないという確率はゼロではないのです。

友達のように突然、病気になるかもしれないし、事故にあっけがをしたり、またどんな災害に出くわしてしまうかもしれません。もし僕がそうなったとしたら、想像するだけでもつらいことですが、そんなとき僕は人から同情されたくないと思います。

「かわいそう」と思われたくないのです。人間はどのような障がいを背負っていても、命ある限りは生きていかなければならないことはみんなに平等に与えられていることです。

ただ生きていくための条件が良いか、少し悪いかという差だけのことだと思います。

だから僕は障がい者を見て「かわいそう」と思うことが許せなくなりました。

僕はお見舞いに行くと友達の車いすを押して出かけることがあります。よく他人の視線を感じることがあります。自分と違う人を見ると違和感を持つ人が多いのだと思います。

でも自分と人は違って当たり前のだし、その他人を認めることは最も大切なことだと思います。世の中のすべての人が自分と違う他人を受け入れることこそ、差別のない社会の実現につながっていくように思います。

友達のためにも、僕は野球を一生懸命頑張りプロ野球選手になり活躍します。

引用先

平成23年度 心の輪を広げる体験作文

心を打たれる話ですね。僕も障害者ですが、中学校と高校時代に、同じ様に、野球部に入りましたが、高校時代は、硬式ボールだったので、練習や試合は、出場出来ませんでした。当時の監督が、身体に障害があっても出来る事があると、マネージャーを3年間続けた結果は、ベスト4迄、勝ち上がる事が出来て、高校卒業する時に、選手全員に感謝された事を思い出しました……

※「恋しくて、やるせない」の画面「トップ」にある【いいね!】を押していただきますと毎回投稿を見逃さずに見ることができます。

会長の時間

会長 中川 澄



今日は、少し刑事事件のお話をします。ときどき、「従業員に会社の資金を横領された」というご相談をお受けします。こんなとき、何ができるかというお話です。

検討すべき点は、①従業員としての処遇、②民事での対応、③刑事での対応の3点です。

①は、平たく言うと、解雇しますか、ということです。会社のお金を横領したら、基本的に解雇できます。就業規則がきちんと整っていたら、懲戒解雇も可能です。更に、就業規則に「懲戒解雇の場合は退職金を支払わない」という規定があれば、退職金を支払わないこともできます。

②は、横領したお金を返してもらい、損害賠償請求の問題です。裁判をして勝つのは簡単ですが、犯罪を犯してまでお金を手に入れようとする人がそのお金を貯金しているはずがないので、お金を回収するのは至難の業です。

そこで、③の刑事手続が重要になってきます。刑事手続は、国が個人を処罰する手続ですので、実は、被害者は手続きの当事者ではありません。しかし、被害者は、犯人を告訴することができます。横領の金額が大きいと、初犯で実刑もあり得るため、犯人が親族にお金を借りてでも弁償してくる可能性があります。

委員会報告

国際奉仕委員会

「地区補助金受領の報告」

国際奉仕委員長 池永 隆昭



今年度、「タイ王国 浄水器プロジェクト」への予算の半分を地区補助金申請したところ、この度申請満額認められ、ガバナー事務所より入金いただきました。

コロナの影響で、以前のように贈呈式に参加でき

るかどうかわかりませんが、今後、現地 ノンケームRC と打ち合わせをし、実施計画を立てていきます。

幹事報告

(1) 配布物

・週報

(2) 他クラブ例会変更のお知らせ

・堺清陵RC

11月11日(木) → 11月7日(日)

秋季親睦家族会 行先：六甲山牧場

SAA報告

(50音順)

笹山悦夫会員 安田先生、ようこそおいでいただきました。卓話たのしみにしております。

塩見 守会員 安田先生、本日はお世話になります。急に冬みたいになり、皆様、お体ご自愛下さいませ。

城岡陽志会員 背広もマスクも財布も忘れしました。北側会員の応援宜しく。

嶽盛和三会員 安田先生卓話よろしくお願い致します。楽しみにしております。

中川 澄会員 安田様、ようこそお越し下さいました。本日は卓話よろしくお願い致します。

中田 学会員 安田三江子様本日の卓話宜しくよろしくお願い致します。

那須宗弘会員 安田先生今日のご無理を言いました。宜しくお願いします。

平野祥之会員 安田先生、本日は卓話楽しみにしております。

合計22,000円

◆堺北RC基金

堀畑好秀会員 えしやじょうり 会者定離(*)

堺北ロータリークラブの友情に心から感謝して！

*会者定離：会うものはかならず別れる運命にあるということ。この世がはかなく無常なものであることのたとえ。

成功するクラブのレシピ:5つの材料

バートン・ゴールドデンバーグ (米国第7620地区直前ガバナー)

パティシエがさまざまな材料を混ぜあわせておいしいケーキを焼くように、ロータリーでもいろんな「材料」をうまく混ぜあわせることで優れたクラブが出来上がります。さまざまな材料の中で、私が最も大切だと思った5つの材料をここにご紹介したいと思います。

材料1 「独自の個性」

私の住む町には4つのクラブがあり、互いに近接していますが、それぞれが独自の個性をもっています：クラブ1：夕食例会。30人の会員が長年一緒に活動しており、ロータリー財団と地区への寄付が多い。

クラブ2：朝食例会。年配の会員と若い会員がバランスよくおり、ローターアクトクラブとインターアクトクラブを熱心にサポートしている。

クラブ3：昼食例会。クラブの伝統に誇りを持ち、国内外のプロジェクトに力を入れている。

クラブ4：朝食例会。創立15年で、会員の出身国は11カ国、話す言葉は9カ国語。

材料2 「参加意欲を引き出す例会」

例会に「正しい形式」というものはありません。新型コロナ流行により柔軟性と創造力へのニーズが高まっており、バーチャルと直接対面（またはその組み合わせ）で例会を開くことができます。肝心なのは「参加意欲を引き出す」例会であることです。成功しているクラブは、会員の関心や時事に沿った多種多様なトピックについて興味深い話ができる卓話ゲストを見つけ、出席へのモチベーションを高めています。また、お知らせや事務的な用件に費やす時間を短くする、新会員やゲストへの挨拶係を置くことで親近感を生み出す、会員の誕生日を祝う、全会員が何らかの形で参加できる方法を取り入れるなど、さまざまな工夫をしています。

材料3 「会員の関心に応じた奉仕活動」

奉仕はロータリーの中核的価値観であり、成功するクラブの中核には常に奉仕があります。会員は地に貢献したいと考えており、その方法は数多くあります。会員が参加したいと考えている奉仕活動とは、どのようなものでしょうか？地元での活動、それとも海外での活動でしょうか？特定の重点分野と関連しているでしょうか？クラブでアンケート調査を実施して会員の要望を調べてみましょう。また、会員の関心は年月とともに変わる可能性があるため、毎年アンケート調査を行い、会員の期待に応える奉仕の機会を提供しましょう。

材料4 「心から楽しめる交流」

成功するクラブでは、会員が互いの交流を心から楽しんでいきます。例会、奉仕活動、募金活動、ピクニック、そのほかの集まりなど、交流の機会を積極的に作り出しています。このようなクラブでは、真の友情が育まれ、ロータリー外で付き合い合う会員も多くなります。また、生き生きと楽しく会員同士が打ち解けている様子や温かい雰囲気を入会候補者に感じてもらうことができます。

材料5 「優れたリーダー」

五つ星レストランの成功の裏には、必ず優れたシェフとスタッフがいます。これと同じように、成功するクラブには、ダイナミックなリーダーシップチームが必要です。熱心で明確なビジョンをもった会長、そして会長が入念に選んだリーダーシップチームが定期的に会合し、新しいアイデアを話し合い、問題を解決し、奉仕と親睦の計画を立てながら、クラブの方向性を定め、会員の要望やニーズに耳を傾け、将来のクラブリーダーを開拓し育てることができます。

成功するクラブの5つの「材料」をどのように生かせるかを、ぜひ考えてみてください。有名パティシエが材料にひねりを加えたり、材料の配分を変えたりして最高のケーキを作ろうとするのと同じように、クラブでも5つの材料をうまく混ぜ合わせ、独自のひねりを加えることで、優れたクラブを実現できるでしょう。